要求書を出した日の
住友製鋼所と其の回答

勞働爭議中の大阪住友製鋼所では銃に歎願書を提出したが滿足な回答を得ず更に二十日は要求書を提出する段取となつた此の日職工側は從來九名の實行委員に更に四名を増員し十三名こし何れも赤色の腕章を捲し午前十一時打揃つて出頭し工藤支配人、細矢副支配人こ會見し要求書を提出した、工藤支配人は開口に先立つて一昨日諸兄が出された歎願書に對して會社は誠意を披瀝し極重審議の末回答したものであるから、今日の要求書の内容が歎願書こ同一のものであればあれ以上の回答は出來ないから此點は豫め御諒解を乞ふ

こ云つて開封したが要求書の内容は素より歎願書こ同一内容で二十一日正午迄に回答を求めるこの事であつたが會社側は既に段案が決つてゐるから同日正午迄に回答をる旨を通告し實行委員は一旦其の場を退出した、一方此日の製鋼所は職工全部出勤したが製鋼、鍛錬、鑄物等の五百人が就業してゐる外他の大部分は機械に油も注がず隨所に集團して勞働歌を高唱し又は萬歳を叫んで示威的氣勢を擧げ[illegible]然たる狀態である、會社當局では此の有樣を見て構内の掲示場に「仕事をなさらなければ皆さんの損ですから仕事をなさい」

この掲示を出したが容易に就業せず、實行委員の方は要求書提出後更に協議の結果飽く迄紳士的態度を執るこて再び事務所に出頭し、

會社は正午に回答するこの事であるが製鋼の作業は午後三時に終るので正午に回答されては仕事に支障を生じる

この理由の下に正午回答時を午後三時に延期されたしこ申込み會社もこれを諒こして午後三時回答の事に決した

二百餘名の女工を先頭にして
雨中の大示威行列
住友製鋼電線兩所の職工
大に氣勢を昂げた三千五百人

既報の如く爭議中の大阪西區島屋町住友製鋼所職工三千名は定休日十九日午前八時半から西區九條町住友に職工大會を開會、一方既に會社この交渉斷絶し臨時休業を申渡された西區恩貴島町住友電線製造所の職工千五百名も雨天のため四貫島小學校前の廣場に集合の豫定を更へて明治館に學勝込んで兩工場の職工三千五百名は期せずして一團こなり、斯くて定刻製鋼所職工大會は實行委員司會の下に大會は開かれ先ず今回の爭議に關する經過報告及び決議を滿場破るゝばかりの拍手裡に可決した

宣言

資本主義の齎らせる影響甚極に達し吾人の不安は恰も濁水の上を歩むが如し、吾人は俳にても此不安より脱せん爲めに會社に對し嘆願したる最低の要求は婉曲なる辭令を以て拒絶されたり、嗚呼吾人の願ふ所は一に正義あるのみ吾人は被害の當然手段なる臨時休業或は閉鎖を怖るゝものにあらず、吾等は飽迄正義の貫徹せざれば死すとも屈せず右宣言す

決議

一、吾々は正義の要求を貫徹すべく最後の手段たる（一文字[illegible]）なかするものにあらず

一、吾々は全市姉妹團體たる電線工組合と行動を共にす

右決議す

住友製鋼所職工一同

次で電線製造所側より委員の報告演説があつて同十時會合神に閉會を告げ引續き兩工場職工の大示威行列に移つた三千五百の職工は降り頻る雨中を西九條公園に勢揃ひし同十時半電線製造所の女工二百餘名を先頭に同所の男工がこれに續き製鋼所職工が殿となり

朝日橋を渡り六軒家川に沿うて行進し汽車會社の前に差掛るや多數の同社職工は窓場に現はれて萬歳を連呼し氣勢を添へたので一大行列の間に揚げてこれに應じつゝ目的の住友製鋼所へこ練り進んだ、製鋼所では定休日とて鐵門を固く閉ぢて守衞の姿も見せずヒツソリこしてゐたが

大行列は同所前に押出して一齊に勞働歌を高唱し更に工場の窓に一種物凄い光景を呈した所で行列は三本松堤から防を練つて恩貴島へ出で電線製造所の門前に到着すると先頭の同所の女工約二百名は門前に圓陣を作つて勞働歌を高唱した後女工だけ解散し行列は更に正蓮寺川に沿うて恩貴島橋、備前橋を渡つて北港通町を一直線に千島橋を經て四貫島小學校前の廣場に集合同十二時半無事散會した

住友電線工場
遂に三日間の休業
其間に職工の再考を求むと

住友電線工場の職工側と最後の交渉を行ふべく拒絶された第三次要求を再度携えて十八日午後二時今橋五丁目の總本店に赴いた住友電線所職工の實行委員中の交渉委員岩部、高橋外五名は理事にして伸銅製鋼の兩所長を兼ねた山下氏こ會見三時間の長きに亘つて五時退出したが結局重役側は最初の回答より一歩も讓歩する餘地が無いと手嚴しく拒絶し職工側も夫れでは最後の手段に出るよりはかりたゞ應じて此處に交渉は斷絶し翻紀七名は西區四貫島町賀川源七方に待つて居る實行委員四十餘名に右の旨報告して今後は製鋼所こ共に妥協して同一行動を採る事となつたが同時に總本店からは豫て印刷して置いた廿日から三日間臨時休業を行つて再考を求むる旨の通知書を電線所々員の外女工千三百人に發送し更に廿日午前十時から四貫島小學校横手の空地に集まつて示威運動を始め一方では更に總本店に要求書を提出することゝなつた

リカあたりでは昨今職工に解雇手當を與へたりする工場は無い臨時休業が終つて工場を開けてもうまい工合に行かぬなら閉鎖を續ける外なく不適な職工を解雇するのも其時に成て考へる云々

斯う成つたら
最後迄鬪ふ
職工側委員談

職工側の交渉委員の中、土井の名は「頑固一點張りの、血も涙も無いやり方で人を馬鹿にしてるにも程があります更に各々の持つて來た要求書は總本店は電線所こ別の會社だからと云つて受け取らぬ始末です斯う成つたら最後迄鬪ひつゞけて倒れる外ありませんこ眞赤に亢奮して叫んでゐた

因に十九日は電線製鋼共に第三日曜の定休日である

回答以外の外
は到底出來ぬ
山下理事語る

右に就いて山下理事は決意の色を浮べて

現在の營業狀態で既に回答した以外の事は到底出來ぬ職工の生活も苦しいからうが會社の經營も苦しい、云ふ通に成ては行つて行けぬ解雇手當を一年未滿の者にも廿日分與へるなど、云ふのは無茶な[illegible]問題に成らないヌ

嘆願を要求に改める
休日明けの住友製鋼所
約五百名は就業した

爭議中の住友製鋼所では休日明けの廿日朝職工は平常通り出勤したが製鋼、鍛錬、鑄物の三工場五百名が就業したのみで他は全部場内職場をやつて居るので會社は午前十時半構内の掲示場に「仕事をしなければ皆樣の損ですから仕事をしなさい」との貼紙をしたが職工は依然として此處彼處に屯して勞働歌などを高唱してゐた、一方第二回實行委員は要求書（總の嘆願書の形式を改めたもの）を工藤支配人、細矢副支配人に提出したが工藤支配人は

一昨日諸君にお手渡した回答書は諸君の意思を十分尊重した上のことだから今度の要求の内容も總の嘆願書こ同一である時は總の回答以上のことは出來ない筈だ

こ語つて取敢ず要求書は直に幹事に通じ回答期限は二十一日正午こあるも今日（二十日）の正午迄に回答する旨を告げたが委員等は

正午こいふ時刻は製鋼所の從業中であつて此處では大事な仕事をして居る、若し回答の如何により此處で不穩な事を起しては一大事だから同工場終業時刻の午後三時に回答して下さい

こ頗る紳士的に出で會社側もソレではさて同時刻に回答することゝなつたが要求は拒絶するらしい、それから工場内には一般に人心が動搖して居るやうに思はれるから此際許可を得ず構内において集會演説などをされぬやう自重して下さい

この掲示をした

實行委員の
家庭訪問
住友電線の職工
連結束を固む

休業中の住友電線製造所の職工は二十日の朝から四貫島小學校横手既報の事務所を設け結束を弛めない爲に各係りくに出勤簿を拵へ職工に一々捺印させ十時半「我れくは飽迄實行委員を信任し今後絕對に單獨の行爲を執らずこの決議をした、尙休業期間滿了後の二十三日からは全部出勤はするが仕事の能率を低めることに內定して居る模樣である、一方實行委員は四貫島の賀川方に集まり協議の結果二十名の委員を擧げ職工中軟化の虞あるもの、家庭を訪問することを申合せた

坑内で行方不明の
坑夫四十餘名
佐賀の住友炭礦
第三坑口に浸水

佐賀縣東松浦郡巖木村住友炭礦第三坑に於ては連日の雨大にて警戒中なりしが十七日午前坑夫百名入坑作業中の處雨水同坑内に入りたる爲め入坑中の坑夫六十名は辛うじて難を免れ坑外に出でたるも殘り四十餘名は行方不明となり被害者の家族は篠突く雨を冒して坑口に集まり上を下への大騷ぎを演じてゐる（佐賀電報）

住友電線の
切崩と職工結束
第二要求案の提出
伸銅所も次第に強硬となる

住友電線製造所の形勢險惡の爲め、廿二日まで三日間休業をなし、此間軟派職工切崩しの策を取るべく、廿三日より出勤するや否やの返信用端書を封入じ、一般に催告書を發したるに、職工側も之に

對應

すべく、早朝から工場附近なる四貫島小學校庭に天幕張の詰所を設け、實行委員が詰切りで同志職工の結束を堅むべく、一々出勤簿に調印せしめつゝあるが、正午までに

男工八百名、女工三名の脫落者あり、尙住友では、之に對しては、二十名の訪問委員がそれく家庭を訪問して狩り出しを為し此分にては會社の思惑通り催告書に應ずる者は少かるべく、職工は我

甚だ

強硬に實行委員を信賴し、單獨行動を取らずと決議したり、又同製鋼所は前日職工大會の決議に基きて會社が休業又は閉鎖して如何に

脅か

すとも、態度を變へずとの意氣込みにて、大谷氏等十八名の委員は、更に山形外三名の委員を加へ、廿日午前十一時同所長に對し、前回同樣の第二要求案を提出したるが、其の

回答

は三十分を經てにべもなく拒絶されたるより、全工場能率狀態となり了り、同校も、今明日中に臨時休業をするに至るべく、尙は[illegible]決し兼ね居たる

伸銅

所の職工三千二百名の中、硬派職工約一千名は一兩日前より出勤せず、姉妹の危急を救ふ爲出來ざれば、先づ伸銅組合を解散せよと叫び居るので

硬派

に傾くもの多く工場内[illegible]